

平成25年5月8日

各 位

会社名 日本空港ビルデング株式会社 代表者名 代表取締役社長 鷹城 勲 (コード番号 9706 東証第1部) 問合せ先 管理本部副本部長 山田 克爾 (TEL. 03-5757-8000)

組織の一部変更に関するお知らせ

当社は、平成25年5月8日開催の取締役会において、下記のとおり組織の一部変更について決議いたしましたのでお知らせいたします。

以上

<別添資料>

・組織の一部変更について・・・別紙1

組織の一部変更について

当社グループを取り巻く経営環境が大きく変化する中、新中期経営計画を推進するため、グループ総合力を結集し、羽田空港を拠点とする既存事業の強化及び将来の経営基盤の確立を目指した新規事業等の推進体制を一層強化する目的で、下記のとおり本社組織を一部見直します。

記

1. 組織見直しの目的

・ 効率的な経営と迅速な意思決定を目指し、組織を簡素化し、これまでの5本部16部室から3本部13部室とし、管理部門、企画部門及び運営部門の役割を明確化する。ただし、 実際の業務運営にあたって複数の部門に関連する事項については、密接に連携して職務を 遂行することとする。

(1) 管理本部

- ・ 管理本部は、会社のマネジメント部分をつかさどり、少人数で効率的な業務の推進を行う。
- ・また、グループ全体の管理部門のスリム化も図り、グループとしての低コスト体質の企業 集団を目指す。

管理本部

<u>総務・人事部</u> … 総務(ACI、ビル協事務局含む)、法務、グループ全体の人事制度企画・ 労務・厚生・研修

<u>経</u> 理 部 … 制度会計、管理会計、資金調達、運用管理、グループ全体の経理・給与 計算の集約(シェアドサービスセンター)

<u>I T推進室</u> … 基幹系情報システムの総合的企画開発、運用管理

(2) 経営企画本部

- ・ 経営企画本部の強化が今回の組織変更の大きな目的の一つである。経営企画本部が事業開発部門を併合したうえで、コントロールタワーの役割を果たし、当社グループの成長を推進していく。
- ・ 経営企画部は、変革が大きく進む空港運営のあり方等外部環境の変化に対応し、企業として成長していくための経営計画の策定やグループ企業管理等をより専門的に担当する。
- ・ 事業企画部は、これまでの事業開発・運営本部から経営企画本部の所掌とし、収益構造が 大きく変化する中、売上・利益を拡大するための新規事業企画のみならず、既存事業の改 革も担当する。

経営企画本部

経営企画部 … 空港政策(空港運営のあり方検討)、経営管理、中期経営計画・予算管理、 子会社管理、プロジェクト管理

<u>事業企画部</u> … 新規事業企画、海外事業企画、新規不動産(羽田跡地含む)事業開発 (国際線(跡地含む)事業、UHHA、桟橋、市中免税、空室における新規事業誘 致等)

既存事業改革~家賃・施設利用料政策、物販・飲食・物流政策、広告事業政策

広報・IR室 … 社外広報、IR活動

(3) 運営本部

・運営本部は既存事業の売上・利益の拡大を目指すと共に、経営企画本部と協力して担当するグループ会社の日常業務の管理・監督を行う部署として明確化した。

運営本部

施 設 部 … 航空会社(協議会窓口、交渉窓口)、国土交通省窓口、家賃、施設利用料(通常業務) ターミナル施設、駐車場施設の管理運用、広告・イベントの管理運用、旅客サービス部門(案内、ラウンジ、旅行業務等)の管理運用

防災安全部 … 防災保安に係る諸対策の企画・実施

<u>営業部</u> ・・・・ 営業部門の渉外・庶務、羽田国内テナント管理(ART、HAE 含む) 羽田国内、国際線のリーシング業務 免税売店の管理、保税・免税商品の開拓、海外店舗の管理 営業部の傘下に成田、大阪、中部の各営業所

※ HAE については、今後、店舗運営全般を担う会社にすることを目指し、第1段階では国内店舗を管理、運営する。国際線店舗は一旦、JAT体制に戻し、賃貸借先・許認可関係も含め、体制整備のうえ、HAEへ移管する予定。

国際線事業部 … 羽田国際線受託業務は、運営が主体となることから運営本部に併合する。

- 2. 組織図 別添 資料①参照
- 3. 変更年月日 株主総会終了後

以 上

新組織図

